

香川大学教育学部

附属坂出学園だより



～ 地域に必要とされる学校園をめざして ～

第75号

2025.3



令和5年6月に閣議決定された「第4期教育振興基本計画」には、持続可能な社会の創り手の育成とともに、日本社会に根差したウェルビーイングの向上が示されています。そこでは、自己肯定感や自己実現など個人が獲得するウェルビーイングと、人とのつながりや関係性に基づくウェルビーイングを調和的・一体的に育むことが重要だとされています。さらに、子供たちのウェルビーイングを高めるためには、教職員をはじめとする学校全体のウェルビーイングが重要であり、それが家庭や地域、社会にも広がっていくことが求められています。

附属坂出学園に関わるすべての人たちが、学園の子供一人一人のウェルビーイングの実現をめざすと共に、教育や子育てを通して、保護者や地域の方々も含めた私たち大人のウェルビーイングが高まっていくことも大切にしていきたいと思っています。

香川大学教育学部附属坂出小学校・幼稚園 校園長 片岡 元子

～人が集まり、みんながつながる学園をめざして～



お兄ちゃんも上手に泥団子できたね



上手に塗れたね（4年・特支交流）



花車優選手との交流

夢中になって

【年少児】

サンタクロースからもらった手回しごま。最初は、両手をすり合わせて回すことが難しかった人も、毎日挑戦してできるようになってきて、「見よってよ！」とうれしさをかみしめながら楽しんでいます。また、保育者のこまに色が付いていることに気が付き、次々にこまに色を付ける子供たち。回してみると色が重なって見えたり模様ができたりすることに大興奮。「うわー！ここ水色に見える」とこまにくっつきそうなくらい顔を近付けて回る様子に見入っています。「もう一回塗ろう」と色を足していく子供たちと共に保育者も夢中になって遊んでいます。

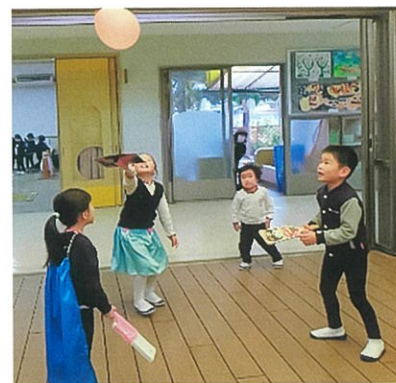


色が変わったよ！

友達と一緒に楽しむために

【年中児】

新年を迎え、羽根つきを楽しみ始めた子供たち。最初は、本物の羽根で挑戦。しかし、羽根の落下スピードが速く、羽子板でつくのは難しい様子でした。そこで、羽根の代わりに風船を用意してみると、ふわりとゆっくり落ちてくることで友達とのラリーが続くことが楽しくなったようです。風船つきを楽しみたい子供たちが増え、今度は羽子板が足りなくなりました。すると、廃材の箱や芯を組み合わせたオリジナル羽子板を作り、楽しむ子供たちが素敵です。



手作り羽子板で風船つき

<真の主体的な学びへ～子供の学ぶ意欲を大切に～>

自主・自律

共生・協働

探究・創造

挑戦や工夫を楽しんで

【年長児】

寒さに負けず、戸外で思い切り身体を動かして遊ぶことを楽しんでいる子供たち。最近では、いろいろな友達と一緒に大縄での連続跳びに挑戦しています。

リズムよく縄を回したり跳んだりすることは、思った以上に難しく、すぐに引っかかることもよくあります。しかし「ジャンプする時にみんなで『今！』って言うと揃っていたよ！」「風で縄が揺れない場所を探して移動しよう」「今度はもっと大きく縄を回してみるね」と、なかなかうまくいかない時こそ考えを出し合い、工夫しようとする姿が見られます。保育者も仲間の一人となり、みんなで励まし合いながら全力で遊ぶ中で、大勢の人と遊ぶ楽しさや息を合わせる心地よさ、絆の深まりなどを日々実感しています。これからも、少し難しいことへの挑戦や心も身体も温まる経験を、大切にしていきたいと思います。



息を合わせてみんなでジャンプ！

自分の未来について考えよう

6年生は「自分の未来について考える」というテーマで総合的な学習の時間に取り組んでいます。2学期は『My Dream EXPO2024』と題して、11月の附小フェスタで、全校生やオープンキャンパスに来る幼稚園の友達に向けて分かりやすく発表するという目標を立てました。調べたことを基に、発表する内容やポスターの割付を考えたり、1学期の修学旅行で訪れたキッザニアでの体験やスタッフの人たちのことを思い出しながら、どんなお仕事体験を行うかを計画、準備したりしました。来てくれた人が、どうすれば喜んでくれるか、という思いで、準備に励む姿が印象的でした。当日はどの教室も大盛況で、子供たちも2時間働き詰めでした。幼稚園の友達には、しゃがんで相手の目線に合わせて説明するだけでなく、混雑してきたら自分たちで机を動かして座席を増やしたり、ゲームに3回とも失敗すれば、おまけでもう一回させてあげたりするなど、相手の様子を見て動く姿が見られました。これからも「人のために力を使う」「周りを見る」「自分のベストを尽くす」…などの心を大切に中学校でも、今回の経験を生かしてほしいと思います。



できることをやってみよう



調べたことを伝えよう

みんなが幸せになるために

4年生では「みんなが幸せになる」をテーマに総合的な学習の時間に「福祉」について学んでいます。4月に訪れた坂出市社会福祉協議会で、「福祉とはみんなが幸せになるためのもの」と学び、自分はどんな幸せを届けられるかを考えました。そこで、附属特別支援学校の友達と仲良くなることを目標に、交流を続けました。12月には、クリスマス祭りを開催し、様々なゲームで楽しみました。「続けて関わる、できることを見付ける」など、仲良くなるためのコツをたくさん見付けました。このような経験から、お年寄りの人とも関わりたいという思いを高め、民生委員さんや認知症サポーターの方の話を伺い、さらに自分ができる幸せを考えています。



クリスマス祭りの様子

地球温暖化対策プロジェクト

本年度は、児童会役員が「地球温暖化対策プロジェクト」を計画し、様々な取組を行いました。給食を残さずに食べると食品ロスが削減し、地球を守ることにつながるということについて、劇を交えて呼びかけたり、全校生に少しでも地球温暖化について関心をもってもらえるように〇×クイズをしたりしました。さらに、もっと地球温暖化対策を行っていくために、自分たちだけでなく地域でできそうなことを考え、リサイクルできそうなものを学校で回収する『ほっとステーション』を週に1回実施しました。



食品ロス対策の劇



SDGsほっとステーション

共創型探究学習CAN

今年度で15年目を迎えるCAN。10月25日（金）に行われた最終発表会で今年度の優秀研究『CAN賞』に選ばれた四つのクラスターがステージ発表を行いました。四つのクラスターの中で最も優れたクラスターに送られる『青雲賞』に輝いたクラスターは…

CAN2024 最優秀研究『青雲賞』
クラスターNo.24 色鮮やかな抹茶のお菓子をつくるには
3年 三井 暖 豊田 萌心
2年 宮脇 愛理 1年 鹿庭 彩花 金村 紗卯

でした。おめでとうございます。表彰式後のインタビューで、クラスターリーダーの三井さんは、「大好きな抹茶に関する探究を行うことができて良かった」と満足そうな表情で答えていました。

【表彰式後のインタビューより】

Q 探究で最も苦労したことは何ですか？

A 計画を立てることです。CANの日Iの時、計画がギリギリで昼ご飯を食べる時間がほとんど無かったり、作り方のレシピの分量を間違えて計画を立ててしまっていたりしました。

Q 3年間のCANの探究は自分にとってどのようなものだったのですか？

A 異学年同士で本格的な探究ができる特別なものです。中学生で初対面の人たちと探究ができる機会はあまり無いと思います。その経験ができてとても楽しかったし、おもしろかったです。



青雲賞クラスターのみなさん

語り合いの時間

語り合いの時間は、「答えのない問いに対し、自問自答しながら考え、語り合う時間」です。考えながら語り、時には沈黙しながら、言葉をつむいでいきます。友達の様々な考えを聴く中で、自分の考えが揺さぶられ、また考えが変わったり、ますます分からなくなったりもします。このような深い語りになるためには、語りたい問いであることが必要です。研究大会後は、語りたい問いを選択する段階から、自ら問いをつくる段階への移行を試みており、資料やテーマから問いを出し合い、語り合っています。さらに、12月6日（金）には、初めて異学年との語り合いを行いました。先輩あるいは後輩と語ることを通して、同級生との語りだけでは得られない新たな視点を自己の中に取り入れ、考えを深めることにつながったのではないのでしょうか。



語り合いノートを使って問いづくり



異学年の語り合い

<真の主体的な学びへ～子供の学ぶ意欲を大切に～>

自主・自律

共生・協働

探究・創造

日常生活での自立

集団生活での自立

社会生活での自立

ふれあい祭を通して

11月に開催したふれあい祭りでは、親子運動や販売活動をしました。相手を意識して準備や練習をし、直接様々な人とやり取りを交わすことで、人とふれあうことの楽しさや喜び、活動の達成感を味わうことができました。この経験が今後の社会参加への意欲につながることを願っています。

小学部

ふれあい祭りの親子ストレッチでは、「こんなふうには足を伸ばすよ」と動きのポイントを児童がおうちの人に自分から伝える場面やマットを片付ける場所までおうちの人を連れていく場面など、普段学校で頑張っていることをしっかりと伝える姿を見ることができました。生活単元学習の時間に作った野菜スタンプ付ポーチや飾り付袋クリップ、マグネットなどの販売もしました。様々な経験をして、たくさんの喜びを感じるよい機会となりました。



親子でのびのびストレッチ



お買い上げありがとうございます！

中学部

ふれあい祭りの作業販売では、自分たちが作業学習の時間に作った製品を販売する活動を通して、買ってくれた家族や地域の人から「上手に作っているね」「このへびの置物かわいいね」などの声を直接いただくことができました。また、商品を丁寧に包んで渡すなどのやり取りを通して、感謝の気持ちを伝え、達成感や喜びを実感できるとてもよい機会となりました。



商品説明はお任せ！



レジはアプリでスマートに



お買い上げに感謝

高等部

ふれあい祭りで「喫茶まうんてんぴーち」（テイクアウト専門店）と「やまもも良品」（作業販売）を開店しました。ミスなく効率よく仕事ができるように、生徒たちはこの日に向けて対応マニュアルを考えたり、製品作りに取り組んだりしました。また、ICTを活用して効率よく運営できるように環境の工夫もしました。当日は大盛況で、たくさんのお客さんが来店しましたが、しっかり事前準備していたのでほとんどミスなく終えることができました。



タブレットで注文確認



やまもも良品接客中

あいがとうの気持ちを込めて

附属特別支援学校は、附属坂出小学校「南組」創設60周年・附属特別支援学校創立50周年を迎えました。これもひとえに、これまで本校に関わり、様々な面から支えてくださった皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

11月30日（土）には、記念式典とふれあい祭りを開催しました。保護者や卒業生、地域、学校関係、福祉、進路先等日頃からお世話になっている皆様に多数ご参加いただきました。式典では、来賓の皆様から本校への温かいお言葉をいただきました。次に大好きな校歌を元気に歌いました。その後の生徒会イベントでは、生徒会役員が司会・進行やダンスリーダーを務め、会場全体で歌って踊り、大いに盛り上がりました。式典後のふれあい祭りでは、各部が学習発表を行いました。この日のために準備や練習をしてきた成果をたくさんの方に見ていただき、大きな拍手をいただきました。皆で一緒に50周年を祝えたことに喜びと感動を感じる一日でした。

今後もより一層誰からも愛される学校をめざしてまいります。よろしくお願いいたします。

記念式典と生徒会イベント



記念式典



さあ、会場の
皆さんも
一緒に！



学習発表

祝50周年 最高に楽しめたふれあいまつり

高等部：アートと音楽発表



できた！協力して作りました。



気持ちを歌にのせて届けます！

中学部：ダンス発表



はりきってまいりましょう！
祭りだ、ワッショイ！

小学部：運動とダンス発表



運動発表大成功。やったね！



みんなで踊れて楽しいな！

第66回 附属幼稚園研究発表会

保育を楽しむ保育者を目指して

～資質・能力が育つ状況づくりを探る～

1月31日（金）に、第66回研究発表会を開催しました。県内外から多くの皆様をお迎えし、一人一人の子供が、やりたいことにじっくりと取り組む園生活の様子を見ていただくことができました。公開保育の後は、特に心に残った姿や場面を挙げ、子供のやりたいことを支える保育者の支援や環境について、各年齢別分科会にて話し合いました。活発な意見交流を通して、幼児の内面理解を深めると共に、保育者として大切にしたい心もちや関わりについても学ぶことができました。

また、大阪総合保育大学特任教授／國學院大學名誉教授の神長美津子先生をお招きし、「『遊びや学びのプロセス』から読み取る資質・能力の育ち」について、ご講演いただきました。幼小の円滑な接続に向けて、校種を越えて様々な立場や視点から気付いたことを話し合い、日々の実践やカリキュラムを丁寧に見直していく大切さを再認識することができました。お話いただいたことを心掛けながら、これからも子供と共に園生活を楽しみたいと思います。



5歳児「新しい技に挑戦！」



分科会での話し合いの様子

附属坂出小学校 研究大会

第104回 附属坂出小学校教育研究発表会

多様な他者と共に、自ら学びを進める子供の育成（2年次）

～自己調整力を育てる学習の展開～

1月31日（金）教育研究発表会を開催しました。県内外から700名近くの皆様をお迎えし、本校の提案授業を見ていただくと共に、多くのご意見をいただくことができました。

提案授業では、各教科等の授業の中で子供たちがこれまでの授業の中で習得してきた、「自己調整力を発揮するための方法」を使いながら学んでいく姿をお見せすることができたと考えています。授業討議では、授業で見られた子供の姿を基に、教師の手立てや支援が有効であったかどうか、それぞれの教科のめざすべき子供の姿が達成できていたかについて話し合い、多くの貴重なご意見をいただきました。

トークセッションでは、桃山学院教育大学の木村明憲先生と香川大学の岡田涼先生をお招きして本校の研究についてご講評をいただくとともに、今後の研究や教育の在り方についてのお話がありました。

教育研究発表会の中で参会者の皆様からいただいたご意見や、木村先生、岡田先生からいただいたお話を基によりよい授業を目指していきたいと思っています。



トークセッション



どうしてそう思ったの？

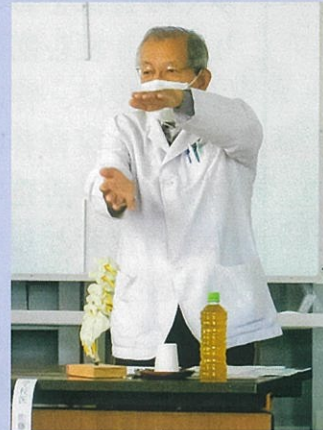
心の支援部の取組

学校保健安全委員会

「脊柱側弯症について」「セルフケアとハスワーク（自分自身の心とつながる時間）」

今年度第2回目の学校保健安全委員会は、小学校5年生、中学校1年生の希望者を対象に今年度から脊柱検査が学校で行われることになったのを機会に、学校医の佐藤先生から脊柱側弯症についてお話ししていただきました。

側弯症についての代表的なものや症状、診断方法、治療について、また、学校の内科検診でも生徒に後ろを向いてもらい、どのように確認しているかを、模型を使って具体的に説明してくれました。自覚症状があまりないことから、家でできるチェック内容についても教えてください、参加された保護者の方は、早速試してみたのではないのでしょうか。



学校医 佐藤先生



慈照寺 秋山様

その後、慈照寺の秋山美智子様を講師としてお迎えし、ハスワークを行いました。ハスワークで自分の内面に出会い、ハスづくりの作業（ワーク／手しごと）を通じて、作り手が自分自身とつながり、セルフケアについて考える機会となりました。何かに夢中になること、そして、その時間を誰かと共有すること、できたものを皆で楽しむこと・・・あえて少し時間をとることによって、自分への休息を与えることになること、人とあたたかい時間をもてる楽しみになることを実感しました。



ハスワークの様子



学校保健安全委員会には、心の支援部のSC谷測先生、嶋田先生、SSW藤澤先生も参加し、それぞれのグループに入り、保護者の方と一緒に作業をしながら交流しました。

保護者の方からのアンケートには、「脊柱側弯症では、簡易検査の方法を早速やってみたい」と書かれている方が多く、「模型を使って詳しく教えて下さり、知らないことが知れてよかった」という感想もありました。ハスワークでは、「とにかく楽しかった」という声が多く、無心に作業をしたり、グループでお話をする時間を心地よく過ごすことができました。来年度もぜひ、たくさんの保護者の方に参加していただければと思います。

松 韻 会

【SDGsほっとステーション実施について】

附属坂出小学校では、地球温暖化対策プロジェクトとして「附坂小プレゼンツSDGsほっとステーション」を開設いたしました。地球温暖化は今、人類において最重要課題であり、子供たちが地球を守る第一任者として、「地球を守っていこう」という意識を高めることを目的に、本学園でも取り組むこととしました。地域や自分の家にある資源が環境を守る第一歩であること、そして、自分たちが使うものによって変わっていくことなど、このように資源が私たちの生活の中で循環していることに気付けるようになればと思っています。



集まった貴重な資源

保護者の皆様もぜひ、この運動にご参加いただき、ペットボトルや空き缶など、再生可能資源をお子様と一緒に持ってきていただけたらと思います。よろしくお願いします。

【坂出市PTAソフトボール大会（幼稚園・小学校・中学校）】

12月8日（日）に坂出市PTAソフトボール大会が開催され、附属坂出学園より幼稚園・中学校合同チームと小学校チームの2チームが参加しました。極寒の中ではありましたが、附属坂出学園の代表としてハッスルプレーでした。幼稚園・中学校合同チームは惜しくも予選敗退となりましたが、小学校チームは決勝トーナメントに進出し、見事準優勝をいたしました。11月より合同練習を重ね、多くの保護者と先生方とのつながりを深めることができました。ご参加いただいた保護者の皆様ありがとうございました。



見事！準優勝

親 和 会

【府中湖水のフェスティバルでの出店】

10月6日（日）に府中湖カヌー競技場で開催されたフェスティバルでバザー販売をしました。今年はおにぎりやアイスクレープに加えマシュマロ串も販売し、大変好評でした。高等部も作業学習で作った製品を販売しました。たくさんの方と交流するよい機会となりました。



高等部も出店しました！

おいしいですよ！

【ふれあい祭りお宝市、バザー】

ふれあい祭りでは例年、保護者からの提供品によるお宝市とキッチンカーを呼んでのうどんやおにぎり弁当等の販売をしています。今年は新たに駄菓子セットも販売し、さらに、50周年記念ということでオリジナルのプリントクッキーも用意しました。いずれも大変好評で、たくさんの方にお買い上げいただきました。これからも、来場者に喜んでいただくために内容を充実していきたいと思っています。



オリジナルクッキー



何があるかな？お宝市



ほかほかうどん大人気



附属坂出学園への協力事業所等の募集

附属坂出学園では、9年間一貫教育並びに特別支援学校との連携を軸に、様々な人と協働しつつ地域で活躍している子供の育成をめざし、教育活動を進めているところです。今後の学習等の活動にご協力いただける場合は、QRコードより登録をお願いいたします。

<https://forms.gle/iP1EZY2dE7TkKJiv7>



編集後記

令和6年度も終わりに近付いています。子供たち一人一人が、様々な場面で活躍し、健やかに成長できた1年間であったと思います。卒園・卒業を迎える子供たちには、新しい環境での活躍を心からお祈りしつつ、新しい学年に進級する子供たちの健やかな成長をこれからも支えていきたいと思っています。今後とも、皆様方のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

発行年月日：2025年3月吉日

発行事務局：香川大学教育学部附属坂出学園